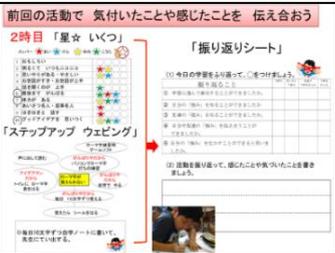


2 研究の実際 > (2) 授業の実際

Ⅰ 授業実践 (小学校 第4学年 3時目)

- ◆本時のねらい：グループでの交流活動を通して、「強み」を生かしていこうとする意欲を高め、自分や友達の「強み」を知ったり、「強み」の生かし方を考えたりすることができるようにする。
- ◆本時のめあて：自分や友達の「強み」を生かしていこう。
- ◆授業前の取り扱い
 - ・前時までのワークシート等をファイルにまとめ、児童に配付する。
 - ・グループを意図的に構成し、児童の心理的な負担を減らすように配慮する。
- ◆本時の展開

学習活動と授業スライド	・児童の様子と教師の気づき	○教師の働き掛け
<p>1 前時の活動を振り返る。</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・「前時に考えた『困っていることの解決方法』を試した人はいますか」と尋ねると、約8割の児童が手を挙げた。 ・「運動会で友達に教えてもらった玉入れの方法を試したら、たくさん玉が入ったよ」と、全員の前で紹介した児童がいた。 	<p>○授業前に前時までのワークシートと振り返りシートを返却し、自分の「強み」や前時までの学習を通じた気づき等を思い出させることができるようにして、活動への意欲を高めるようにした。</p>
<p>2 本時のめあてを知る。</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のめあてと学習内容を知り、活動に期待する様子が見られた。 	<p>○ワークシートを配付した。</p>
<p>3 「お宝ウェビング」の活動を行う。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">交流活動 (4人)</p> <p>(1) 1、2時目の活動で見つけた自分の「強み」を書き、関連した「強み」を線で結ぶ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全ての児童が、1、2時目のワークシートを見て、自分の「強み」を書き写すことができた。その際に、関連のあるものをつなげて書くことができた。 ・1、2時目のワークシートに書いていないことを新たに書き加えた児童もいた。 	<p>○スライドを提示し、活動内容と方法を説明した。</p> <p>○1、2時目のワークシートにある自分の「強み」を「お宝ウェビング」のワークシートに書いた後に、関連した「強み」は線で結ぶように指示した。</p>

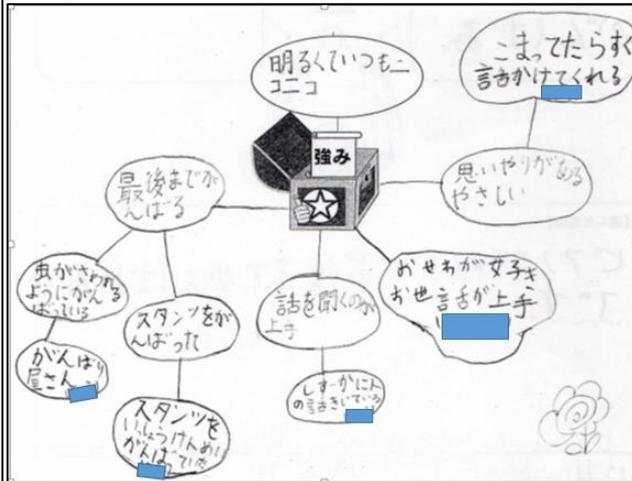


【「お宝ウェビング」の活動の様子】

(2) 友達のワークシートに「強み」を書き加える。

・友達の「お宝ウェビング」を見て、新たな「強み」に気付き、関連のあるものをつなげて書くことができていた。時間いっぱい黙々と書く姿が多く見られた。

- 新たに気付いた「強み」を書き加えてもよいことを伝えた。
- 「強み」を書き加えるときに自分の名前を書くことにより、友達を思いやる気持ちや活動への意欲を高めるようにした。
- 友達に「強み」を書き加えてもらったワークシートに目を通す時間を設けた。



【Cさんが記述した「お宝ウェビング」】

4 「これがあれば大丈夫！」の活動を行う。

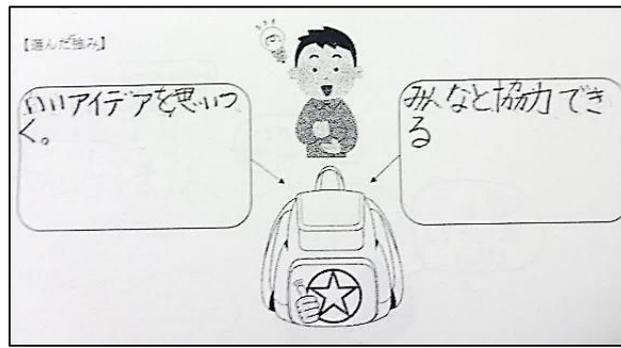
交流活動（4人）

(1) 今後、困ったときや落ち込んだとき、何かにチャレンジしたいときに、これがあれば大丈夫だと思える「強み」を2つ選び、選んだ理由を書く。

・「お宝ウェビング」のワークシートをじっくり読んで、今後生かしたい「強み」を2つ選ぶことができていた。想定していたよりも、時間が掛かっていた。

・全員が、自分なりに選んだ理由を書くことができた。大半の児童は、2つの「強み」それぞれについて理由を書いていた。

- スライドを提示し、活動内容と方法を説明した。
- 「お宝ウェビング」を参考にして、自分が生かしたい「強み」を2つ書くように助言した。
- 選んだ理由を書くことにより、自分の「強み」を生かしていこうとする意欲を高めるようにした。



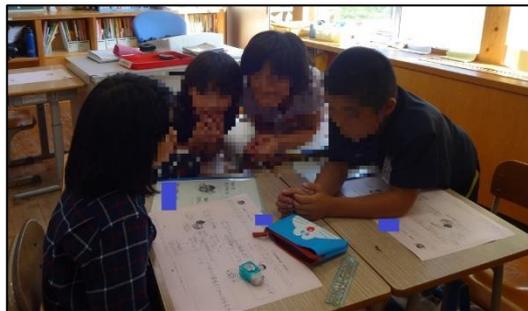
【Cさんが生かしたい「強み」】

【選んだ理由】
 みんなと協力できるは、1人でやっているときにみんな
 がいっしょでできるいいアイデアを思いつくは、だから
 がよかったらこうしたらアイデアを思いつける。

【Cさんが「強み」を選んだ理由】

(2) 選んだ「強み」と選んだ理由を伝え合う。

- ・ワークシートに記述した文章を読むため、安心して伝える様子が見られた。
- ・友達の顔を見ながら真剣に聴く姿が見られた。自然に拍手をするグループもあった。



【生かしていきたい「強み」を伝え合う様子】

5 本時の活動を振り返る。

交流活動(4人)

- (1) 本時の活動を振り返る。
- (2) グループで気づきを伝え合う。

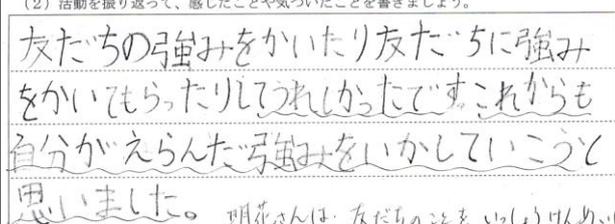
- ・板書やワークシートを参考にしながら、活動を振り返る姿が見られた。
- ・振り返りシートの書き方に慣れたため、めあてを意識して気づきを書くことができていた。

○1時目に学習した「話をきくときの約束」を確認して、安心できる雰囲気の中で伝え合うことが出来るようにした。

○選んだ「強み」と選んだ理由を伝え合うことにより、自分や友達の「強み」を更に生かしていこうとする意欲を高めるようにした。

○振り返りシートを配付した。

○気付いたことや感じたことを記述してグループで伝え合うことにより、互いに自他のよさに気付くことができるようにした。

<p>6 3時間の学習活動を振り返る。</p>	<p>(2) 活動を振り返って、感じたことや気づいたことを書きましょう。</p> 	
<p>学習のまとめ【1時目】 めあて： 自分の「強み」を見つけよう 活動： 「自分ウェビング」</p> 	<p>【児童が記述した感想や気づき】</p>	<p>○スライドで3時間の学習活動の様子の写真や振り返りシートの記述を提示して、振り返ることができるようにした。</p> <p>○これからも自分や友達の「強み」を見付け、互いに伝え合い、「強み」を生かしていきたいという意欲につなげるようにした。</p>
	<p>・1、2時目の振り返りシートの記述を読み上げると、「だれが書いたのかな」「私と似ている」などの声が上がった。「これからも『強み』を見付けたり生かしたりしてね」と言葉を掛けると、「はい」と答えたりうなずいたりする姿が見られた。</p>	
		
	<p>【スライドを見ながら3時間の活動を振り返る様子】</p>	

◆授業後の取り扱い

- ・学級通信等で学習活動や児童の感想を紹介しました。
- ・ワークシートや振り返りシートに、教師が気付いたことや感じたことを書きました。
- ・ワークシートと振り返りシートをファイルにとじて、児童が学習を振り返ることができるようにしました。

◆本時の考察の視点

- ・本時のねらい「グループでの交流活動を通して、『強み』を生かしていこうとする意欲を高め、自分や友達の『強み』を知ったり、『強み』の生かし方を考えたりすることができるようにする」を達成することができたかを、振り返りシートの結果と記述から考察します。考察の視点は、以下のとおりです。

【① 学習に進んで参加することができたか】

振り返りシートの「学習に進んで参加することができましたか」の質問で、意欲的に自分や友達の「強み」を知ろうとしたり「強み」の生かし方を考えようとしたかを考察します。

【② 自分や友達の「強み」を伝え合うことができたか】

振り返りシートの「自分や友達の『強み』を伝え合うことができましたか」の質問で、自分や友達の「強み」を知ったり「強み」の生かし方を考えたりするために、自他の「強み」を伝え合うことができたかを考察します。

【③ 自分の「強み」を知ることができたか】

振り返りシートの「自分の『強み』を知ることができましたか」の質問で、自分の「強み」を知ることができたかを考察します。

【④ 友達の「強み」を知ることができたか】

振り返りシートの「友達の『強み』を知ることができましたか」の質問で、友達の「強み」を知ることができたかを考察します。

【⑤ 今後、自分の「強み」を生かしていこうと思ったか】

振り返りシートの「今後、自分の『強み』を生かしていこうと思いましたが」の質問で、「強み」を生かしていこうとする意欲を高め、自分の「強み」の生かし方を考えることができたかを考察します。

◆本時の考察（「振り返りシート」の結果と回答と記述から）

【① 学習に進んで参加することができたか】

○振り返りシートの「学習に進んで参加することができましたか」の質問に対して、「できた」と回答した児童の割合は100%でした（図1）。また、振り返りシートには、「私は自分でも読むことが上手だと気付きました。この勉強はとっても楽しかったです」「友達の『強み』を書いたり読んだりすると、人の『強み』を知ることができるので楽しいと感じました」という記述が複数見られました。これらのことから、児童は「お宝ウェビング」や「これがあれば大丈夫！」の学習活動やグループでの交流活動に進んで参加し、意欲的に「強み」を知ろうとしたり「強み」の生かし方を考えようとしたと考えます。

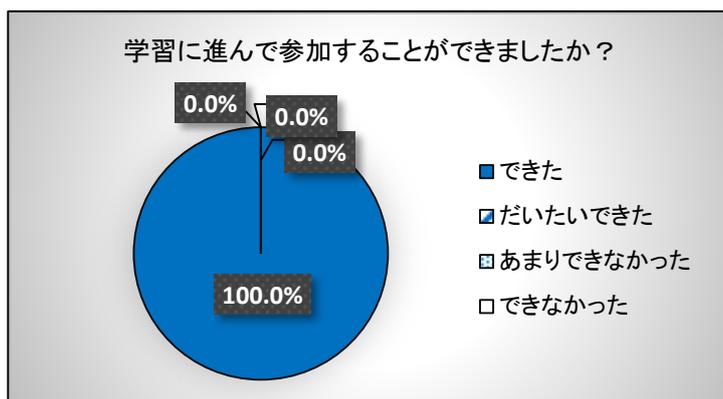


図1 学習に進んで参加できたかについてのアンケート結果（振り返りシートより）

【② 自分や友達の「強み」を伝え合うことができたか】

○振り返りシートの「自分や友達の『強み』を伝え合うことができたか」の質問に対して、「できた」と回答した児童の割合は100%でした(図2)。また、振り返りシートには「自分の『強み』は自分よりそばにいる友達が知ってくれていることが分かったから自分も友達の『強み』を分かってあげられるといいなと思いました」「最後の発表で、友達の選んだ理由まで分かったので良かったです」という記述が見られました。これらのことから、児童は「お宝ウェビング」や「これがあれば大丈夫！」の学習活動とグループでの交流活動を通して、「強み」を知ったり「強み」の生かし方を考えたりするために、自他の「強み」を伝え合うことができたと考えます。

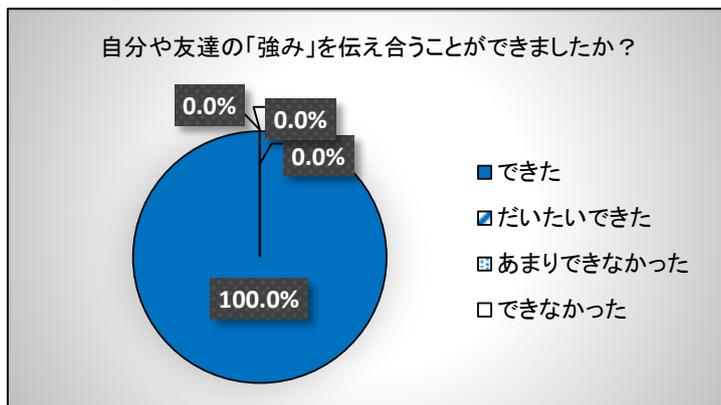


図2 自分や友達の「強み」を伝え合うことができたかについてのアンケートの結果（振り返りシートより）

【③ 自分の「強み」を知ることができたか】

○振り返りシートの「自分の『強み』を知ることができましたか」の質問に対して、「できた」と回答した児童の割合は100%でした(図3)。また、振り返りシートには、「自分の『強み』を見つけられたので良かったです。ぼくの知らないことが知れて良かったです」「自分の『強み』を知ることができて良かったし、友達を書いてくれたのを見てうれしかった」という記述が多く見られました。これらのことから、児童は「お宝ウェビング」や「これがあれば大丈夫！」の活動やグループでの交流活動を通して、自分の「強み」を知ることができたと考えます。

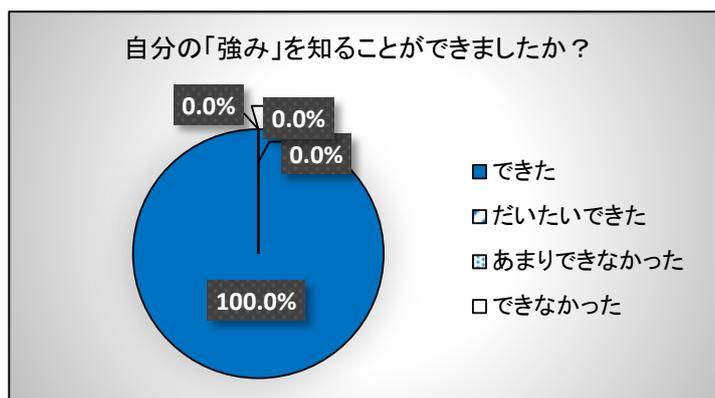


図3 自分の「強み」を知ることができたかについてのアンケート結果（振り返りシートより）

【④ 友達の「強み」を知ることができたか】

○振り返りシートの「友達の『強み』を知ることができましたか」の質問に対して、「できた」と回答した児童の割合は100%でした(図4)。また、振り返りシートには、「友達の強みも見付けられて良かったです」「友達の『強み』が書いて良かったです」という記述が多く見られました。これらのことから、児童は「お宝ウェビング」や「これがあれば大丈夫！」の学習活動とグループでの交流活動を通して、友達の「強み」を知ることができたと考えます。

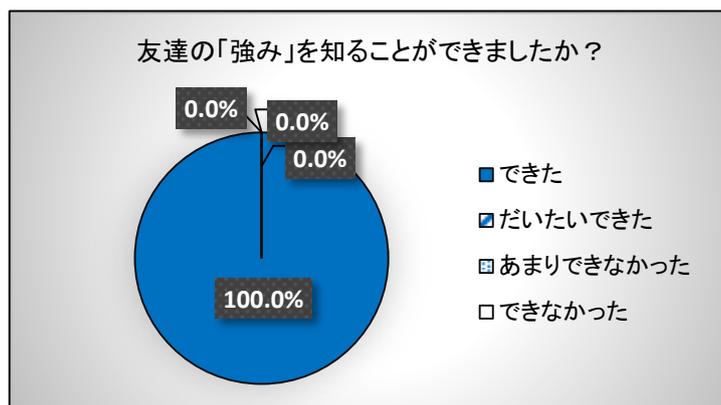


図4 友達の「強み」を知ることができたかについてのアンケート結果（振り返りシートより）

【⑤ 今後、自分の「強み」を生かしていこうと思ったか】

○振り返りシート「今後、自分の『強み』を生かしていこうと思いましたが」の質問に対して、「思った」と回答した児童の割合は100%でした(図5)。また、振り返りシートには、「また、自分の『強み』を知ることができました。次は自分の『強み』を未来に生かすことができればと思いました」「自分が知らない『強み』を知ることができて良かったです。『強み』をこれから先も生かしていこうと思いましたが」のように、前向きな記述が見られた児童が約3割いました。これらのことから、児童は「お宝ウェビング」や「これがあれば大丈夫！」の学習活動とグループでの交流活動を通して自分の「強み」への理解を深めたことにより、場面に応じた自分の「強み」の生かし方を考えることができ、これから自分の「強み」を生かしていこうという意欲を高めることができたと考えます。

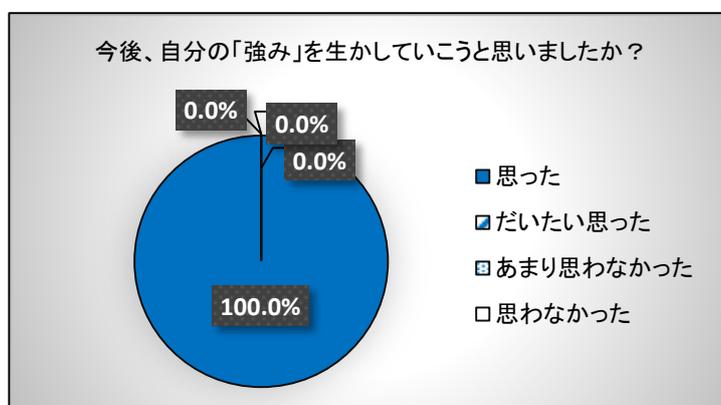
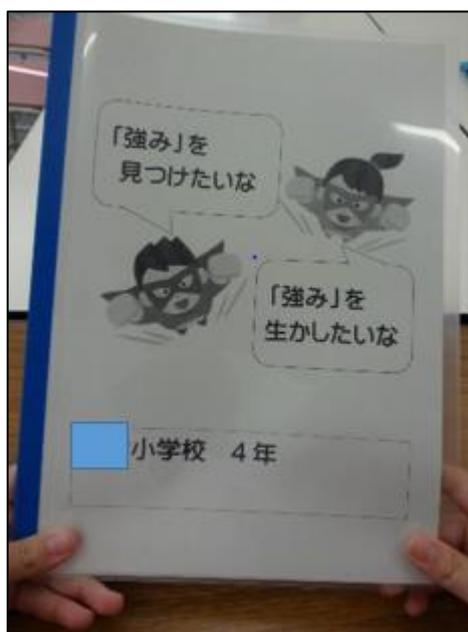


図5 今後、自分の「強み」を生かしていこうと思ったかについてのアンケート結果（振り返りシートより）

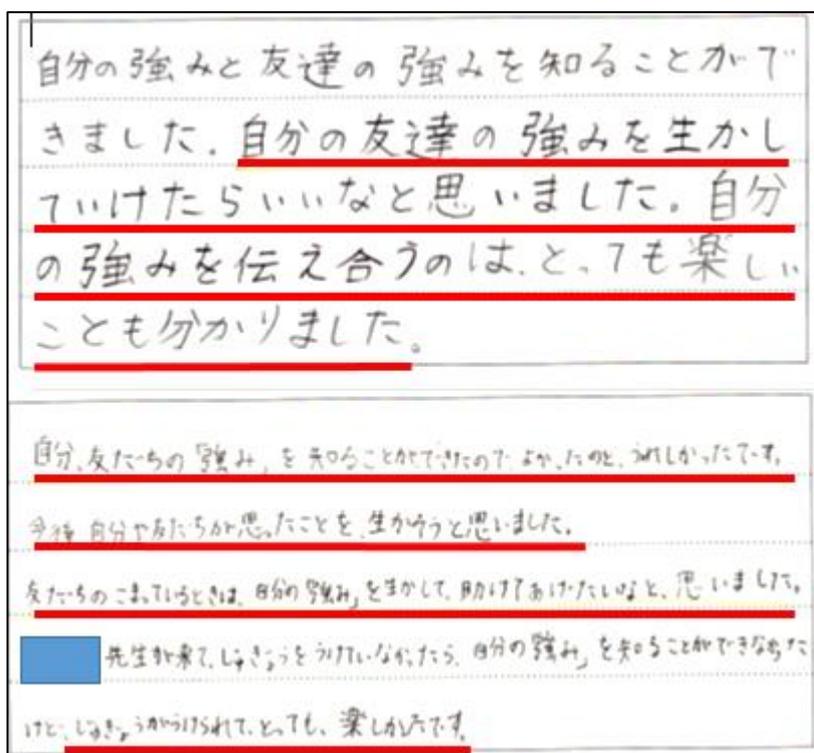
以上の結果より、3時目の授業において、児童は意欲的に授業に参加し、自分や友達の「強み」を知り、それを伝え合い、今後、自分の「強み」を生かしていこうと思ったことが分かりました。質問項目ごとに見ると、「自分の『強み』を知ることができましたか」という質問に「できた」と答えた児童の割合は1時目よりも14.2%上がりました。また、「学習に進んで参加することができましたか」「友達の『強み』を知ることができましたか」「自分や友達の『強み』を伝え合うことができましたか」の質問に「できた」と答えた児童の割合は、2時目よりもそれぞれ7.1%上がりました。これらのことから1、2時目の活動で見付けた「強み」を生かした活動を仕組んだことやウェビングマップの技法を用いて視覚的に「強み」を整理したこと、活動時間を十分に確保したことなどにより、児童が安心して主体的に学習に取り組むことができたことが、めあての達成につながったと考えます。

◆授業後の取り扱いに関する考察（振り返りシートの児童の記述と担任の感想から）

- これからも、児童が自分や友達の「強み」を見つけ、互いに伝え合い、「強み」を生かしていきたいという意欲につなげるために、3時間の学習で使用したワークシートと振り返りシートをファイルにとじ、「ストレングス・グッズ」として配付しました（資料1）。配付後に書かせた児童の振り返りシートには、3時間の学習活動やグループでの交流活動を「楽しい」「嬉しい」と感じたことや、今後、「強み」を生かしていきたいという記述が見られました（資料2）。また、担任の感想として、「3時目の授業直前に、児童同士のトラブルが起こり、学級の雰囲気が悪くなりました。でも、授業が進むにつれて、子供達の表情が柔らいたのでほっとしました。交流活動を通して『強み』を見つけたり、『強み』の生かし方を考えたりする学習活動は、子供同士の人間関係を良好にして、子供を笑顔にするのですね」とあり、児童が持つ「強み」に着目した交流活動が児童の自己肯定感を高め、互いのよさを認め合う人間関係づくりに有効であることが分かりました。今後も、「ストレングス・グッズ」を継続的に活用することにより、児童が実際の生活の中で「強み」を生かすことにつながると考えます。



資料1 児童に配付した
「ストレングス・グッズ」



資料2 児童の記述した感想や気づき（振り返りシートより）